

第14回 文学的文章(4) 時空を超えて

文節の役割

例題

★ 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

ねらい

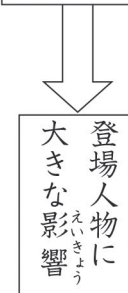
- ・時間・時代を超えた物語を読み解く。
- ・空間・国境を超えた物語を読み解く。
- ・文節の役割について理解する。

学習の要点

現代の日本とは時代や国が異なるなど、実際に見聞きしたことのない場所を舞台にした物語では、主人公と他の人との関係や、それぞれの人物像などを正確に読み取る必要がある。

① 背景をとらえる

- ① 時代・地域：特有の価値観・習慣・生活様式など
- ② 生活環境：貧富・地理・産業など



② 時間・時代を超えて

現代とは異なる昔が舞台になっている物語を読む場合、現代と同じ点や異なる点に注目しながら、背景や人物関係をとらえる。

注目 戦争の時代：かつて、日本にも平和が当たり前ではない時代があった。当時の人たちの生活や心情を、現代との比較でとらえることで、より理解が深まる。

※年齢の離れた大人から、主人公が昔話の形で聞くこともある。

③ 空間・国境を超えて

外国が舞台になっている物語にはいくつかのパターンがある。

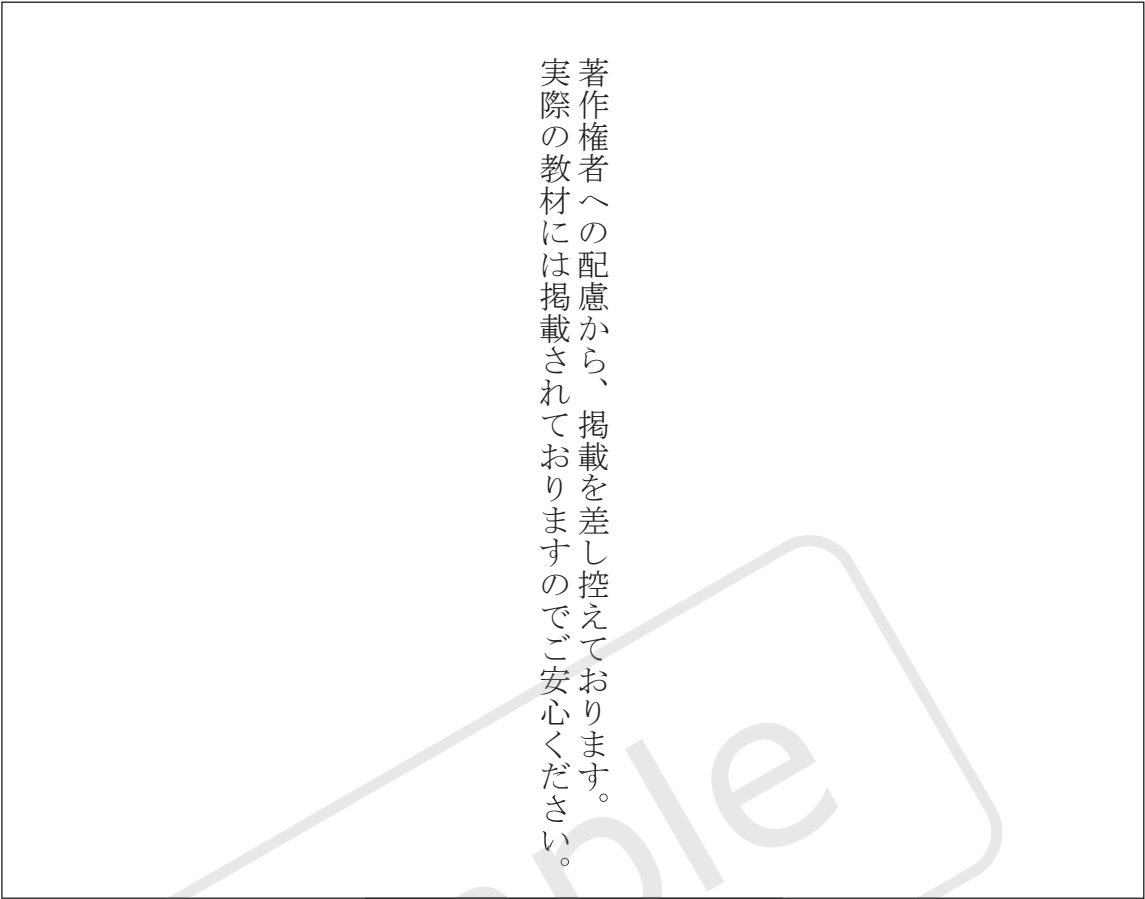
- ① 主人公が日本人：日本から外国に行った主人公が、外国での経験を通して成長することが多い。
- ② 外国の人たちの生活：外国の人たちの特有の生活や文化を描く。日本との共通点や相違点を意識しながら読み解く。

※昔の外国(時代も国も異なる)についての物語が出題されることもある。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) フォーラム…ある話題について出席者全員が参加して行う討論。

(佐藤まどか「スネークダンス」より)



45 40 35 30 25

問一

——線①「今自分がふみしめている部分はだいじょうぶか？と心配になった」とありますが、なぜそのように感じたのですか。次の□にあてはまる言葉を、文章中から書きぬいて答えなさい。(背景)

今立っている橋が

□

に造られた橋なので、

壊れるのではないかと不安になったから。

問二

——線②「ここ」とはどこですか。次の□にあてはまる言葉を、文章中から書きぬいて答えなさい。(背景)

□

問三

——線③「ふしぎな感覚」とありますが、それはどのような感覚ですか。最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。(人物像)

ア 自分は日本人だが、どこかで古代ローマ人の血を引いているように感じる感覚。

イ 自分は日本人だが、ローマ人であるような錯覚を覚えてしまう感覚。

ウ 自分は日本人だが、出身や人種を越えたもつと深い部分でこの遺跡とつながっていると思える感覚。

エ 自分が歩いている古代ローマ遺跡は紀元前のものなのに、自分がそこにいるという感覚。

問四

* □にあてはまる接続語を次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア だから
- イ そのうえ
- ウ つまり
- エ なのに

□

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

小学六年生の「おれ」とクラスメイトの宇太佳と忍は、ある偶然から、家の近くの神社の管理人をしている田中さんと友だちになった。田中さんが戦争で大変な思いをしたことを知ったおれたちは、全校生徒や保護者、地域の人たちに向けて田中さんに講演をしてもらう会をクラス全員で企画した。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

40

35

30

25

20

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(椰月美智子「昔はおれと同じ年だった田中さんとの友情」より)

□ 定番問題

1 3 にあてはまる言葉を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号は二度選ばれません。)

- ア じつと イ さらつと ウ ゆっくりと
- エ たつぷりと オ じつくり カ しんみり

1 2 3

□ 問一

線① 「近所の友達と遊ぶのはたのしかった」とありますが、ここから田中さんのどのようなことがわかりますか。最も

ふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。(背景)
 ア 戦争中でお国のためにと言われることに反発し、せめて自分たちだけでもいつも通りに過ごそうと決意していたこと。

イ 小学生であったために、戦争中で大変な状態を理解できずに、ただ遊ぶことだけに意識が集中していたということ。

ウ 母と妹との暮らしに不安を感じ、どうにかしてその不安からのがれようと必死になって現実から目をそらしていたこと。

エ 戦争中で、お父さんやお兄さんが戦地で死んでしまった状況であるが、今の小学生と変わらない部分もあったこと。

□ 問二 — 線② 「胸が苦しくなった」とありますが、それはなぜですか。次の文の A ・ B にあてはまる言葉を、Aは文章

50 45

中から書きぬいて、Bは自分で考えて、それぞれ三字で答えなさい。

田中さんが戦争中に、 A で体験した話を改めて詳しく聞いて、 B 感じたから。

A

B

□ 問三

線③ 「おれと同じ年だった田中さん」とありますが、この表現には「おれ」のどのような気持が表れていますか。「七十四年前」「他人事」という言葉を使って、考えて答えなさい。

□ 問四

線④ 「強い意識」とありますが、「田中さん」はどのような強い意識を持ってほしいと願っていると考えられますか。最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 戦争で家族を失った人がいることを知り、残された人々を思いやる強い意識。
 人物像

イ 人の命を大切にし、戦争のない平和な世の中であることを願う強い意識。

ウ 過去はふり返らず、未来へ向かって前だけを見て生きていくとする強い意識。

エ 戦争の貴重な体験談を次の世代へ語り伝えていくという強い意識。

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

小学五年生の未来は、おにいちゃんとお母さん、お母さんの兄のトーンおじさんと、お母さんたちの故郷であるカンボジアに初めて旅行に来ている。お母さんたちは、子どもたちの戦争で家族とはぐれ、日本にやってきていた。ある日、未来とおにいちゃんは、お母さんたちと別行動で、日本の大学にカンボジアから留学生として来ているシナットさんと、カンボジアに住んでいるシナットさんの弟のチャンティと一緒にマーケットを見に行った。そのとき未来は自分の財布をなくしてしまったが、探しに行くところ場所をちゃんと置いてあった。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

45

40

35

30

25

20

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 竹林：みんなと待ち合わせをした日本料理店。
 ノー、プロブレム：英語で「問題ない」という意味。
 ソーム・トーホ：カンボジア語で「ごめんなさい」という意味。

(茂木ちあき「お母さんの生まれた国」より)

問一

線①「申し訳なかった」とありますが、なぜトーンおじさんはシナットさんとチャンティーにあやまったのですか。その理由を説明した次の文のA・Bにあてはまる言葉を答えなさい。

未来のおにいちゃんが、未来の財布がなくなったことに対して、AがBと考えたから。

A	B
---	---

問二

線②「おじさんは、今までになく厳しい口調でそういつて、……険しい目を向けた」とありますが、そこには、おじさんのどのような体験が背景にありますか。「く体験。」に続くように、文章中から二十一字で書きぬいて答えなさい。

背景

体験。									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問三

線③「国をだめにする」とありますが、トーンおじさんは何が「国をだめにする」と考えていますか。文章中から十五字以上二十字以内で書きぬいて答えなさい。

人物像

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問四

線④「未来のまぶたはきゆうにふくれあがって、大粒の涙があふれた」とありますが、なぜですか。文章中の言葉を使って、四十字以内で答えなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問五

この文章から読み取れる「おにいちゃん」の人物像として、最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

人物像

- ア 自分の思ったことが正しいと信じ込み、反論されると不機嫌けんになってしまふ自分勝手な人物。
- イ 思ったことを安易に口にしてしまふところがあるものの、人に言われたことを素直すなおに聞いて反省できる人物。
- ウ 物事をじっくりと深く考えたうえでなければ、自分の考えを口にしない慎重しんちょうな人物。
- エ 周囲の人々の様子や気持ちを考えることができず、トラブルを起こしてばかりの人物。

『 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。』

戦国時代、孤児こじとなった平史郎へいしろうは、偶然ぐうぜん出会ったタツの世話になり、一人で生きていくすべを教わった。その後、絵描きえがの周二しゅうじと出会い、朝鮮ちやうせんからつれてこられた孤児のおたあの面倒めんどうを一緒いっしょに見ながら対馬つしまで縫い物師ぬいものしとして暮らしていた。ある日、対馬国主の妻で、戦国大名小西行長こにしゆながの娘むすめであるマリアから泊まりとどがけの仕事たのを頼まれた平史郎は、おたあを一人にできないと、返事をしづっていた。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

40

35

30

25

20

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(中川なをみ「ひかり舞う」より)

50

45

問一

1 2 3
 1 2 3
 3
 1 2 3
 3
 1 2 3
 3

- ア 偶然
- イ 犠牲
- ウ 不安
- エ 必然
- オ 慈愛

問二

線①「不意をつかれた」とありますが、それはなぜですか。「口から出た自分の言葉が、」に続けて、文章中の言葉を使って簡潔に答えなさい。
 口から出た自分の言葉が、

問三

線②「おたあが平史郎の心を見すかして」とありますが、どのようなことを見すかしているのですか。次の□にあてはまる言葉を、文章中から書きぬいて答えなさい。

平史郎が、おたあに、

□
□
□
□
□
□
□
□

でいてほしいと

問四

線③「ひとりではなかったんだ」とありますが、このときの平史郎の気持ちとして最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。(人物関係)

- ア 縫い物師として自力で生き抜いてきたつもりであったが、それすら周二に導かれていたことに気づきあぜんとしている。
- イ 自分一人の力で今まで生きてきたつもりであったが、多くの人の縁に支えられて生きてきたことを実感している。
- ウ 孤児になってからの人生が、目に見えない何者かの力に操られていたことに思っていたり、ぼうぜんとしている。
- エ 今まで自分を支えてくれていた人たちのありがたさに気づき、どうにかしてその恩を返そうと意気込んでいる。

問五

線④「平史郎はすでに動じなくなっている」とありますが、それはなぜですか。次の文のA・Bにあてはまる言葉を、文章中からAは八字、Bは五字で書きぬいて答えなさい。(人物関係)

おたあにAよりも、おたあをBさせる方が大切だと気づいたから。

A B

□
□
□
□
□
□
□
□

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

チャオミンは、女性が小さいときから、足が大きくならないように足を
 しばるてん足てんそくという風習のある漢族の父ドーホンと、てん足の風習のない
 ハル族の母インシェンの間に生まれた。ある日、チャオミンはニユウシユ
 という文字について母に教わっていた。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

45

40

35

30

25

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) ジュエイおばあさん…ハル族である母方のおばあさん。
 ジュアヌ…チャオミンの幼なじみ。

(まはら三桃「思いはいのり、言葉はつばさ」より)

問一 — 線①「面白くなさそうに言いながら」とありますが、こ

のときのイーレイおばあさんの気持ちとして最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。(人物像)

ア てん足の風習のないハル族であるチャオミンの母を馬鹿にする気持ち。

イ 文字の読み書きもできて働く必要のない漢族である自分を誇らしく思う気持ち。

ウ チャオミンの母が自分たちと違う民族であることを苦々しく思う気持ち。

エ ハル族であるチャオミンの母にニューシユの読み書きなどできるはずがないと見下す気持ち。

--

60

55

50

問一 — 線②「女が働かなくていい豊かな漢族と、そうでない漢族がいるんだ」とありますが、このときのイーレイおばあさんの気持ちを、文章中の言葉を使って二十五字以内で答えなさい。(人物像)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問二 — 線③「私はジュアヌに失礼なことを言ったのかもしれない」とありますが、チャオミンはなぜそう考えたのですか。「理由」「同じ」という言葉を使って、四十五字以内で答えなさい。(背景)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問四 — 線④「そんな立派な足」とありますが、この表現からチャオミンの母に対するイーレイおばあさんのどのような気持ちか読み取れますか。最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 称賛
- イ 尊敬
- ウ 軽蔑
- エ 同情

--

文節の役割

●文節

文を、意味や発音のうえで不自然にならない範囲で、最も短く区切ったひとかたまりの言葉の単位。

●文節の役割

「(1)主語、(2)述語、(3)修飾語、(4)接続語、(5)独立語」の五つがある。

●文節と文節の関係

「(1)主語・述語の関係、(2)修飾・被修飾の関係、(3)対等(並立)の関係、(4)補助・被補助の関係」の四つがある。

●文の組み立て

文の種類には「(1)単文、(2)重文、(3)複文」の三つがある。

(1) 単文…主語＋述語がひと組だけで成り立っている文

例 北国の 村に 春が 来た。
主語 述語

(2) 重文…主語＋述語がふた組以上あり、並立している文

例 空は 青く、雲は 白い。
主語 述語 主語 述語

(3) 複文…文の主語・述語のほかに、文の成分の中にひと組の主語＋述語の関係がふくまれている文

例 私は、春が 来たと 思う。
主語 修飾部 (主語) (述語) 主語 述語

例 春が 来れば、雪が とける。
主語 (主語) (述語) 主語 述語

問一 例にならって、次の各文に／を入れて文節に分けなさい。

例 ねこが／ねずみを／追いかける。

- (1) 家の前を猛スピードで車がかけぬけた。
(2) 「平和」という言葉は、多くの人がしばしば口にする。
(3) ツバメはイネの害虫を食べる益鳥として大切に保護されてきた鳥です。

問二 次の各文の——線部の文節の役割を後のア～オから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 京都、それは日本の古い伝統を今に伝える町です。
(2) それでも、出発するのはい、君は。
(3) ほら、いい天気だよ。だから、今日は外で遊ぼうよ。
(4) 信じられないね。そんな不思議なことがあったなんて。
(5) ひろし君、早く起きないと学校におくられるよ。
(6) 黒かあるいは青のペンで書くきまりがある。

ア 主語 イ 述語 ウ 修飾語
エ 接続語 オ 独立語

(1) ①	□	(2) ①	□
(1) ②	□	(2) ②	□
(1) ③	□	(2) ③	□
(3) ①	□	(4) ①	□
(3) ②	□	(4) ②	□
(3) ③	□	(4) ③	□
(5) ①	□	(6) ①	□
(5) ②	□	(6) ②	□
(5) ③	□	(6) ③	□

□問三 次の各文の——線部の文節と、——線部の文節の関係を後の

ア〜エから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 妹の書いた作文が入選した。
- (2) 妹の本を借りて読んだ。
- (3) 公園にはチューリップの花だんがある。
- (4) 晴れでも雨でも大会は行われるそうだ。
- (5) 鳥は飛んでいる間ねむらないのだろうか。
- (6) 見たり聞いたりしたことをメモしておきましょう。
- (7) 新しい曲をみんなで歌ってみた。
- (8) ぼくも参加しますよ、マラソン大会には。
- (9) 大関はとても強いうえに人気もある。
- (10) 秋から冬への季節の変わり目には体調も変わりやすい。

ア 主語・述語の関係 イ 修飾・被修飾の関係
ウ 対等の関係 エ 補助・被補助の関係

(1)	<input type="checkbox"/>	(1)	<input type="checkbox"/>
(2)	<input type="checkbox"/>	(2)	<input type="checkbox"/>
(3)	<input type="checkbox"/>	(3)	<input type="checkbox"/>
(4)	<input type="checkbox"/>	(4)	<input type="checkbox"/>
(5)	<input type="checkbox"/>	(5)	<input type="checkbox"/>
(6)	<input type="checkbox"/>	(6)	<input type="checkbox"/>
(7)	<input type="checkbox"/>	(7)	<input type="checkbox"/>
(8)	<input type="checkbox"/>	(8)	<input type="checkbox"/>
(9)	<input type="checkbox"/>	(9)	<input type="checkbox"/>
(10)	<input type="checkbox"/>	(10)	<input type="checkbox"/>

□問四 次の各文から、主語と述語の関係になっている文節の組み合わせ

を全てさがし、例にならってそれぞれ記号で答えなさい。

例 兄の書いた作文が入賞した。 答え ア・イ・ウ・エ

- (1) たとえこの実験が失敗しても、結果は次に生かされる。
- (2) 希望を持ち続けることが、我々のなすべき最も重要な任務だ。

(1)

(2)

□問五 次の各文から、①主語と②述語の文節をそれぞれ書きぬいて

答えなさい。なければ×で答えなさい。

- (1) 人間も自然の生態系のなかの一員です。
- (2) 日本には、四季の味わいを感じさせる言葉がたくさんある。
- (3) わたしよりも、あなたこそ学級委員にふさわしい人だ。
- (4) その算数の問題は弟でも簡単に答えられた。
- (5) もっと自分に自信を持つべきだ、あなたは。
- (6) あれっ、きのう読んだ後、机の上に置いた本は。
- (7) 新幹線は当時の日本の技術を結集したものだ。
- (8) 早くご飯を食べなさい、冷めないうちに。

(8) ①	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>	②	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>
(7) ①	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>	②	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>
(6) ①	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>	②	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>
(5) ①	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>	②	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>
(4) ①	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>	②	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>
(3) ①	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>	②	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>
(2) ①	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>	②	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>
(1) ①	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>	②	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>

□問六 次の各文の——線部の文節が修飾している文節を、それぞれ書きぬいて答えなさい。

- (1) ひとしきり風が強く吹いた後は、また静かになった。
- (2) わたしは毎朝、スズメが庭にきているかどうかを観察した。
- (3) あの大きな白い建物は、わたしたちの学校です。
- (4) 遠くで鳴く犬の音が、聞こえたような気がした。
- (5) いくら「ごめんなさい」とあやまつても、友人は許してはくれなかった。
- (6) いきなり目の前に大きなクマが現れることも、山を歩いていとある。
- (7) 新調したばかりのサイズが少し大きい制服を着る。
- (8) いかにも北の空にひしゃくのような形に見えるのが、北斗七星です。
- (9) そのお寺は創建以来うつつそとした木立の中でひっそりとしたたずまいを見せる。
- (10) 今まで事件らしい事件など起きたことのなかった街にとつぜん持ち上がった怪奇な事件に市民は動揺を隠せない。

(9)	(7)	(5)	(3)	(1)
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(10)	(8)	(6)	(4)	(2)
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

□問七 次の各文の主語と述語の関係は、後のアウのどれと同じですか。それぞれ記号で答えなさい。

- (1) あの人はいいかげんに見えるけれどけっこうまじめだ。
- (2) 桜の花はまるで雪のように散った。
- (3) 本で調べてみるのがただ一つの解決策だ。
- (4) わたしも負けずに取りつたけの大声で言い返した。
- (5) 何だかつまらないね、この映画は見ていても。
- (6) わたしの父はもう二十年も勤めている大学の職員だ。
- (7) この土地の気候はおだやかに見えるが実際は激しい。
- (8) 今回の合唱コンクールでの優勝はとて素晴らしいことだ。
- (9) 二十キロも歩いたのでこれ以上は歩くのは難しいだろう。

- ア 鳥が 鳴く。
 イ 鳥は かわいい。
 ウ 鳥は 動物だ。

□問八 次の各文の種類を後のアウからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- (1) 階段で転んだ弟が辺りかまわず泣きさけびだした。
- (2) 庭の花だんに、ねこの通ったあとがある。
- (3) 父は犬の散歩に行き、母は買い物にでかけた。
- (4) 親鳥はヒナが成育すると巣立ちをうながす。
- (5) 昨夜から降り続いた雨は学校の裏の池をあふれさせた。

(1)	(6)	(1)
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(2)	(7)	(2)
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(3)	(8)	(3)
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(4)	(9)	(4)
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(5)		(5)
<input type="text"/>		<input type="text"/>

- ア 単文 イ 重文 ウ 複文

★ 実戦問題

□問一 次の各文の——線部の文節の役割を後のア～ウから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 途中から走るスピードが落ちた。
- (2) 書道教室の先生はおだやかな人柄だ。
- (3) 果樹園では害鳥よけの大きな音が鳴っている。
- (4) その日なら夕方までテーマパークにいた。
- (5) 外では風がびゅうびゅうと吹いている。
- (6) 白鳥は冬になると日本に来る渡り鳥だ。

ア 主語 イ 述語 ウ 修飾語

(1)	(2)
(3)	(4)
(5)	(6)

□問二 次の各文の——線部に対する主語(動作主)を、それぞれ一文節で書きぬいて答えなさい。

- (1) 桜は梅の花が散った後に花を咲かせる。
- (2) だれも言わないが、原田さんこそリーダーにふさわしい。
- (3) ぼくは兄の立てた計画を実行に移した。
- (4) あなたも先生が書かれた論文を読んだのですか。
- (5) みんなはまだ残っていたが、わたしだけ先に帰った。

(1)	(2)
(3)	(4)
(5)	

□問三 例にならって、次の各文の——線部の文節が修飾している文節を、それぞれ書きぬいて答えなさい。(句読点はふくみません。)

例 青い 空が 広がる。 ↓ 答え：空が

- (1) とつさに 戦士は 身を かわして 敵を ならんだ。
- (2) 弟は、嵐のごとく 朝から 晩まで はしゃいだ。
- (3) わたしは 急いで となり町に 住む 祖母に 電話した。
- (4) かみなりが 鳴ると たちまち 犬の シロは ものかげに 身を かくした。
- (5) たいてい わたしは、宝くじに 当たるような 幸運など、一生の うちで ある はずが ないと 思う。

(1)	(2)
(3)	(4)
(5)	

□問四 次のア～エのうち、文として正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア わたしの夢は、パイロットになって世界中を飛び回りたい。
- イ わたしは、人の目を見て話を聞くことを大切にしている。
- ウ 祖父が三十年間町内の美化活動をしていることが、今月の市報で紹介している。
- エ 目の前に広がった青い海は、くよくよした気分が消えるのを感じた。

--